



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

6

2009, JUNE

第1813回例会

平成21年6月4日



会報

THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST
Weekly Report

<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>



Make Dreams Real
夢をかたちに

2009年6月

ロータリー親睦活動月間

会 長	越智 孝佳	広報委員長	久保 且佳
副 会 長	太田 万也	広報副委員長	堂山 啓太
副 会 長	神田 龍一	委 員	飯田 正行
幹 事	石原 英樹	委 員	横田 幸宏
会 計	高田 晃一	委 員	上垣香世子
S A A	佐々木和彦		



エコキャップの回収に
協力して下さい

世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

■会長報告

会長 越智 孝佳

皆さん、こんにちは。会長報告を申し上げます。

いよいよ本年度も、最後の1ヶ月となりました。今月は次年度の2回目のクラブ協議会、そして本年度の最終クラブ協議会が開催されます。今年度においては、最後の仕上げの月であります。事業を残す委員会もありますが、活動報告書を含めたまとめとしてラストスパートをかけて頂きたいと思います。次年度については、いよいよスタートに向けての最終準備期間となるかと思えます。会長をはじめ役員、理事、委員長は緊張感の中で、下準備をされていると思います。いずれにしても、今年度、次年度共に、抜かりなくこの1ヶ月をすすめて頂きたいと思います。

最後になりますが、本日お見えになっております奥ガバナー補佐、ローターアクト会長はじめ役員の皆様。まだ1ヶ月を残しておりますので、少々気の早い挨拶かもしれませんが、このような席もこの後ございませんので、会員一同を代表いたしまして、この一年の労に敬意を表しますと共に、お礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

以上で本日の会長報告と致します。有難うございます。



たいまつ宣言

この「たいまつ宣言」は創立30周年にあたり、西ロータリークラブの創立の心を知るところから発し、我々が未来へ向けての道標とするものである。たいまつのように我々の行く道を照らし、明るい未来へと導くものである。

- 1.我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
- 1.我々は 他に依存することなく 自らを発する
- 1.我々は 常に変革をもって 行動する
- 1.我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を実践する
- 1.我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

■出席状況報告

月/日	5/7	5/14	5/21	5/28
例 会	1809回	1810回	1811回	1812回
総会員数	69名	69名	70名	70名
計簿に用いる 会員数	63名	63名	64名	64名
ホームクラブ出席	44名	37名	47名	42名
メークアップ総額	16名	20名	13名	16名
欠 席 者	3名	6名	4名	6名
出 席 率	95.2%	90.5%	93.8%	90.6%

■ニコニコ献金

6月4日 14,000円 累計 403,000円

■今月の主な行事

- 6月 4日 誕生・結婚祝
- 11日 理事・委員長退任挨拶
- 18日 会長・副会長・幹事退任挨拶
- 25日 スポーツ大会・年度最終夜間例会



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL21-0001)
 創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL25-7347 (直通) FAX28-6033

点鐘
開会宣言
国家斉唱
ロータリーソング(四つのテスト)
たいまつ宣言唱和
ゲスト紹介

越智孝佳会長
佐々木和彦SAA
佐々木和彦SAA
佐々木和彦SAA
越智孝佳会長



RI第2500地区第6分区分区ガバナー補佐
奥 周盛様



帯広ロータリーアクト会長
齋藤智教様



帯広ロータリーアクト幹事
岡崎早智様



帯広ロータリーアクト幹事
野原 哲様



帯広ロータリーアクト幹事
永守祥嗣様

6月結婚祝

秋川 恵二会員 1962.6.23
中島 久司 〃 1975.6.13
茨木 雅敏 〃 1979.6.10
三野宮 功 〃 1985.6.28

親睦活動委員会 八代信弘委員

平田 利器 〃 1973.6.10
大友 広明 〃 1979.6.1
横田 幸宏 〃 1984.6.6
田中 利昭 〃 2004.6.13

6月誕生祝

鈴木 享会員 1942.6.22
奥 敏則 〃 1959.6.23

親睦活動委員会 八代信弘委員

横山 明美 〃 1948.6.21
奥田 いづみ 〃 1967.6.26

パースデーソング

乾杯

親睦活動委員会 八代信弘委員

土肥孝紀委員



越智孝佳会長
石原英樹幹事

(会食)
会長報告
会務報告

- ①帯広西RC、年度末最終例会開催のご案内
日時 平成21年6月25日(木) 例会時間 午後6時30分
場所 北海道ホテル
・・・スポーツ大会・・・
1. パークゴルフ スタート 9時00分
場所 帯広の森
2. ゴルフ スタート 12時00分
場所 国際カントリー
- ②帯広北RC、移動例会開催のご案内(創立記念植樹)
日時 平成21年6月5日(金)午後0時30分
場所 帯広の森屋内スピードスケート場エントランス
- ③帯広北RC、移動例会開催のご案内
日時 平成21年6月12日(金)午後0時30分
場所 北海道製鎖㈱
- ④例会終了後、役員・理事会を開催いたします。

ニコニコ献金

小甲哲士会員 「ロータリーアクトクラブに新入会員を！」企業推薦よろしくお願ひします。
斉藤 恵会員 社会奉仕委員会の事業
1. エコキャップ回収運動
2. グリーンパーククリーン大作戦
3. 歳末義援金
4. 入れ歯の名前入れ
5. 保育所植樹

親睦活動委員会 八代信弘委員



柳沢一元会員

先週、白樺カントリークラブのロングホールで、人生3回目のイーグルでした。

クラブ訪問

RI第2500地区第6分区分区ガバナー補佐 奥 周盛様

1. プロローグ prologue

今回は4回目のクラブ訪問で分区内を廻っておりますが、本日の当クラブの訪問で終了です。ガバナー補佐のクラブ訪問は、2002-03年度にDLPが導入されてから始まり、7年が経過しました。手続要覧には、望ましくは1ヶ月に1度、最低でも4半期に1度あり、年4回以上の訪問が義務付けられています。



ガバナー補佐の任務は、確かに大変でありましたが、私にとりましてこの一年は、多くの出会いと感動をいただいた貴重な経験となりました。ガバナーを補佐し、クラブの管理運営を支援することがガバナー補佐の任務ですが、私も皆さんに支えられて役務を全うできる事を実感し、感謝しております。

2. IMIについて

3月に開催しましたIMIは、分区内11クラブの会員535名の全員登録と、多くのロータリアンにご参加をいただき、盛会裡に終えることができました。改めて御礼申し上げます。今回のIMIには、RI直前理事の渡辺好政先生に特別講演をいただきました。

「国際ロータリーの現状と職業奉仕」というテーマのお話は、久しぶりに決議23-34が身近な話題として、皆さんの関心と呼び覚ましたのではないかと思います。ロータリーの奉仕の原点は職業奉仕であり、活動の原点はクラブであると言う事を改めて確認し、私たちがロータリアン一人ひとりが、いま一度この原点に立返り、各クラブが自らの力で、伸び伸びと活動し輝いて欲しいと願っております。

3. タイ3330地区訪問

私はIMIの終了後、13日から19日までの1週間、タイの第3330地区を

訪問してきました。タイ3330地区は、GSE交換やマッチング・グラントによるWCS事業、ならびに地区大会の相互訪問などをとおして、2500地区とは友好関係にある海外の地区のひとつです。

今回の訪問の目的は3つありました。その一つは、第3330地区の地区大会に参加することです。この大会は、バンコク郊外のナコーン・パトムという町で13日～15日まで3日間開催されました。

二つ目の目的は、帯広RCが前年度から取組んできました、マッチング・グラント事業の贈呈セレモニーに出席することです。このセレモニーは、バンコクから飛行機で1時間15分ほどのタイ南部の都市、ナコーン・シン・タマラートで開催されました。

3つ目の目的は、プーケットRCの例会に公式訪問することです。プーケットRCは、次年度の地区世界社会奉仕委員会がマッチンググラント事業を計画しているパートナークラブの一つです。

今回の訪問は、ロータリーの国際性を十分に体験し、出会いと発見、感動と友情を味わった素晴らしい旅行でした。詳しくは、ガバナー月信5月号にその報告文を掲載してありますので、ぜひご覧ください。

4. ガバナー月信

また、ガバナー月信の今月号には、3月のIMの報告ならびに当クラブをはじめ、分区内5つのクラブの記事が掲載されております。第6分区分の各クラブの活発な活動を大変に誇らしく感じています。これらの記事も合わせて、ぜひお読みいただきたいと思っております。

5. エピローグ epilogue

いまロータリーを取り巻く社会は、大変厳しい状況にありますが、このような時代だからこそ、ロータリーがやらねばならない事、ロータリーだから出来る事も多いのではないかと思います。

次年度のRIテーマは、「The Future of Rotary Is in Your Hand」/ロータリーの未来はあなたの手の中に」であります。まさに、帯広西RCのためにあるようなテーマではないでしょうか。

当クラブから輩出されます、柴田ガバナーノミニニーは、愈々ガバナーエレクトとなり、実質的なスタートとなります。また、第6分区分のガバナー補佐は、私から当クラブの茨木会員へ、バトンタッチします。当クラブの益々のご活躍をご期待申し上げる次第です。

最後に、今年度賜りました皆様のご協力に感謝申し上げます、私の最後のクラブ訪問挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。プログラム

青少年奉仕委員会 小甲哲士委員長

【ロータリーアクトクラブ「第35回 地区大会」報告】

帯広ロータリーアクトクラブ 会長 齋藤 智教様

幹事 岡崎 早智様

今回の地区大会は平成21年5月16日(土)13:30より帯広市内の「とかち館」にて開催されました。

また、地区大会記念プログラム「世界がもし100人の村だったら」、「そば打ち体験」は十勝プラザ、ワシントンホテルにてとりおこなわれました。



地区大会記念プログラム

「世界がもし100人の村だったら」

今回、①人口②男女③大陸④栄養⑤富の分配(貧富の差)の5つの項目について、60億人いる世界をひとつの村にたとえ、人種、経済状態、政治体制、宗教などの差異に関する比率はそのままに、人口だけを100人に縮小し、実態を体感するというプログラムに、多くの皆様にご参加いただきました。このプログラムは、異文化という条件のもと、自分と相手の違いを理解し、さらにディスカッション内容を拡大し、国際理解が世界平和へと繋がっていく事実を体験することを目的としておりました。



さて、世界ではなく第2500地区のロータリーアクトクラブに置き換えてみると、①人口→地区会員数111人、②男女→男性会員75名・女性会員36名、③大陸→3ブロック制12クラブ、④栄養→各クラブ活動、⑤富の分配→それぞれの活動資金、というふうにみることができるとは思いません。

同じロータリーアクトクラブという名称を共有していても、一つとして同じクラブではなく、12クラブそれぞれに籍人数、男女率、活動地域により各クラブ活動内容が違います。すなわち、「同じロータリーアクトクラブ」は存在しないのです。一つとして同じクラブがないからこそ、地区活動に関しても考え方の違いや活動方法に関して相違が生れてくる事は当然のことであると思えます。

しかし、そんな各クラブの様々な「違い」は、自分たちのクラブ活動だけでは気付くことは出来ません。第2500地区内12クラブ、第2510地区の各クラブ、それぞれの特色を認識することによって、初めてその違いを理解することが出来、そして、それを共有する事によって、各クラブ、ならびに、お互いが初めて理解しあえると思えます。

そして、この相互理解こそが、地区活動を通して各クラブ活動の活性化へと繋がっていくのではないかと考えます。

本年の地区大会テーマに則して私たちクラブが企画、実行いたしました、「そば打ち体験」と「世界がもし100人の村だったら」というプログラムを通じ、蕎麦のように「末長い」お付き合いと、「奉仕を通じての親睦」に繋がれば幸いです。

また、多くの参加者の皆様と活動を共にすることで、他クラブの皆様との相互理解を深め、たとえ遠く離れていても、ロータリーアクト活動は「Same heart, 同士(どうし)すなわち同じ志を持った仲間」ということを感じる事ができたのであれば、このプログラムの意義が十分伝わったと思えます。

今回の記念事業は、過去に、帯広ロータリーアクトクラブの例会プログラムとして行った内容と同じものです。特別なものを企画するのではなく、例会で行ったプログラムを拡充させ、大会プログラムとなりました。至らないところがありましたら、是非ともご指摘いただきたい所存です。

近年、世情の変化のためか、全国的に会員の減少や財政面によるクラブ活動の縮小など、ロータリーアクトクラブにとって、あまり嬉しくない話題も聞かれます。中にはクラブの存続の危機にさらされているクラブもあると聞いています。

しかし、そのような中でも、ロータリーアクトクラブに在籍するアクトとして、天涯比隣のごとく思いを共有し、ロータリーアクトクラブが、10年20年と未来に繋がっていく活動をしていくクラブ、地区にならなければなりません。

今こそ、一丸となって「Same heart」を共有していきましょう。

開会宣言
点鐘

佐々木和彦SAA
越智孝佳会長